

議案第14号
に係る資料

第四中学校区新しい学校づくりにおける脇田小学校と砂子小学校の統合について

門真のめざす教育と学校づくり実施方針

◎ 第四中学校区の再編にかかる今後の方向性

- 脇田小学校と第四中学校の敷地に、脇田小学校・砂子小学校・第四中学校を統合した、施設一体型の小中一貫校（義務教育学校）を設置します。
- 市内で初めての施設一体型の小中一貫校（義務教育学校）として、門真のめざす教育を先導的に実践し市内の他の学校へ発信するリーディング校をめざします。
- 施設一体型の小中一貫校（義務教育学校）の校舎として、令和7年の完成をめざします。



**令和4年2月の教育委員会定例会において
学校種について義務教育学校と
開校時期については、令和8年4月とすることを議決**

新校舎整備にあたっての基本的な考え方

【門真がめざす新しい学校】

つながり

人とのつながりの中で
学び、育つ学校

これから
への対応

これからの時代、
これからの門真に対応した学校

安心安全

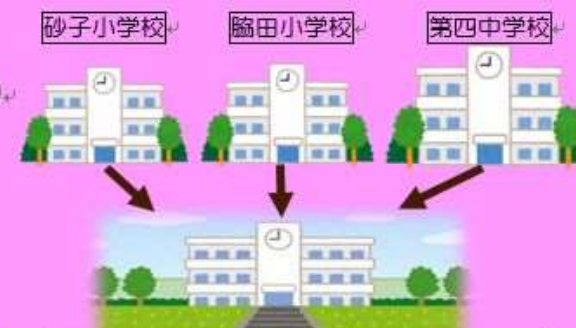
快適で楽しく過ごせる場
としての学校

小中一貫校（令和7年中の校舎完成をめざします）

■違う学年の子どもや大人などいろ
んな年齢の人と関われる学校づくり

■新しい教育など時代に合った
学校づくり

■地域に開かれた学校づくり



小中一貫校（脇田小・第四中の敷地に建設予定）

●整備の自由度の確保【新しい学校は、今後50年、100年と利用する施設】

子どもたちや地域にとって、より良い、活用しやすい魅力的な施設にすることをめざしたい。
新しい学校の建設にあたっては、できる限り設計・整備の自由度を高められるようにしたい。

●3校の調整・連携【小学校と中学校・2つの小学校を揃えていく】

小中一貫校（義務教育学校）は、教員や児童生徒のつながりに向けて、9学年がともに過ごす施設一体型としたい。
新校舎完成までに、3つの学校の調整・連携を進めてそろえていく必要がある。
特に小学校が2つあるため、2校をまずそろえていく必要がある。

●工事期間中の教育活動【新しい学校の建設中の学校運営、子どもたちの学習活動の確保】

小学校・中学校ともに、各教室はもちろん体育館、グラウンド、給食などについて、新校舎建設中においても学習活動を継続できるようにしなければならない。

●事業費

厳しい財政状況の中、市全体の学校を今後創り変えていくためには、費用はできる限り抑えていかなければならない。

新校舎整備配置計画について

脇田小学校 第四中学校

- ・脇田小学校の解体工事 → 新校舎建設
- ・第四中学校は新校舎開校まで現状のままで学校運営
- ・新校舎の完成 → 第四中の解体工事と外構工事

既存校舎の解体→新校舎の建設



新統合学校

- ・令和7年末に新校舎完成
- ・令和8年度は新校舎で学校運営しながら第四中の解体工事と外構工事



※配置はイメージです。
今後検討していきます。

工事中

完成

砂子小学校

仮設児童クラブ
校舎の一部改修



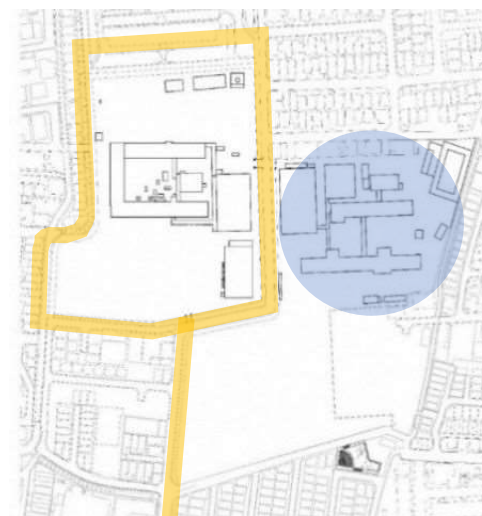
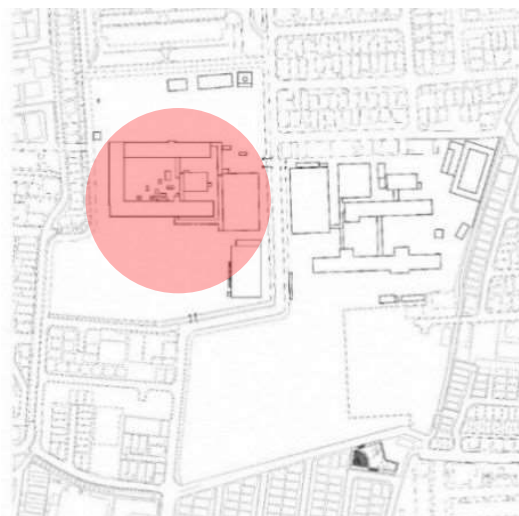
整備手順について

脇田小学校撤去工事
令和5（2023）年度

義務教育学校校舎等工事
令和6（2024）
～令和7（2025年度）

第四中学校撤去工事
令和8（2026）年度

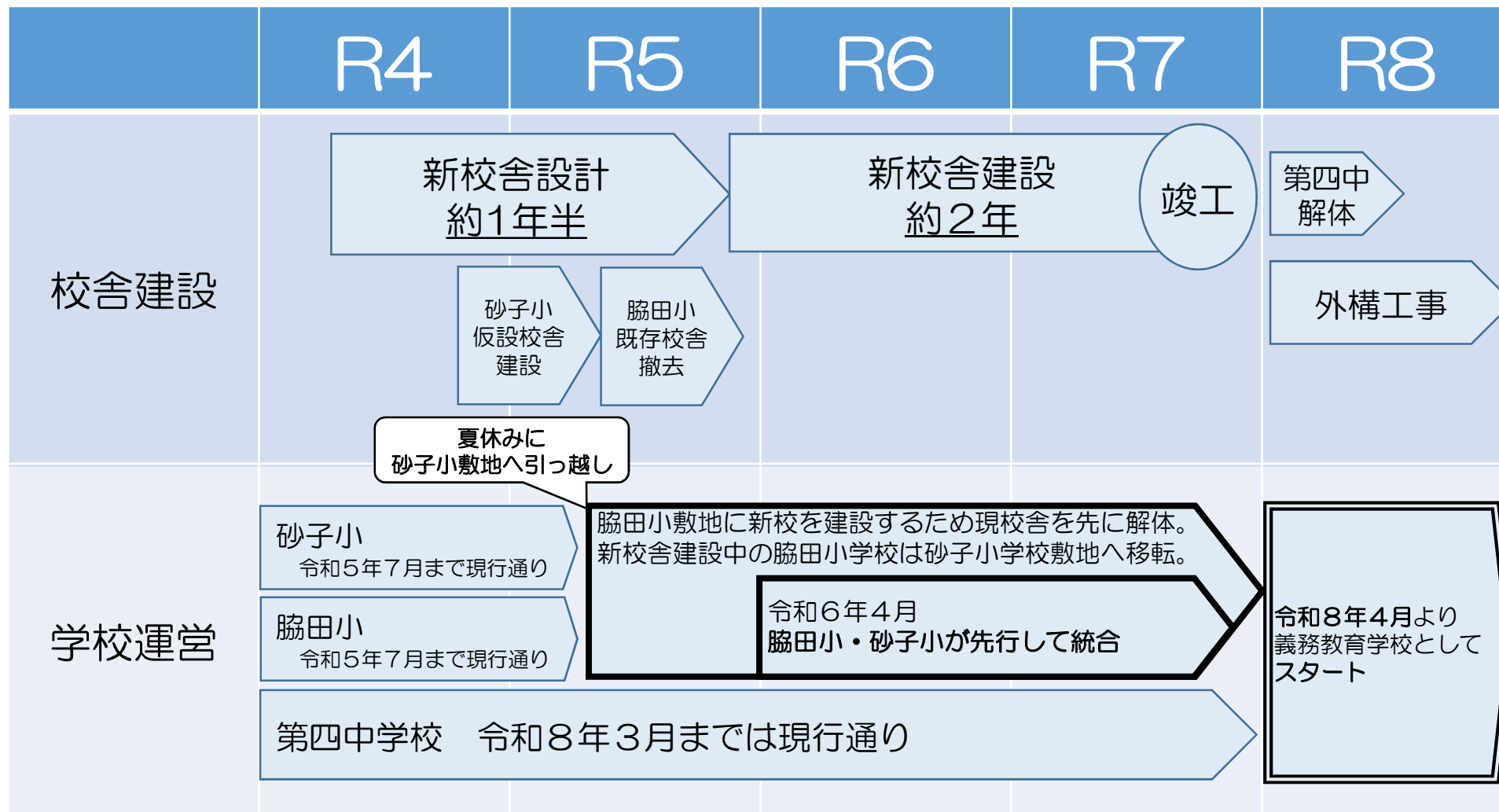
道路等整備工事
令和7（2025）～令和8（2026）年度



校舎建設工事中の小学校運営について

- ◎ R5年度 小学校の連携・交流を深める。
2学期より、砂子小敷地で砂子小学校と脇田小学校の両校の体制を維持する形で運営する。
- ◎ R6年度 両小学校を先行して統合（令和7年度継続）
R6年4月～R8年3月まで、砂子小敷地で統合した小学校として運営する。
- ◎ R8年度 第四中学校と合流し、義務教育学校として開校

令和8年4月の開校に向けたスケジュール（予定）について



小学校統合に関する今後の検討事項について

◎ 小学校統合までに決定すべき事項

- ・ 校名、校章、校歌等の決定プロセスの検討
 - ・ 通学路及び安全確保の検討
 - ・ 教職員配置・人事に関する検討
- R8義務教育学校を意識して検討する
 - 第四中学校区新しい学校設立準備会にて議論する
 - 第四中、砂子小、脇田小と連絡会にて議論する。

◎ 学習環境整備について

- ・ 仮設校舎建設及び砂子小改修の実施設計の内容と建設スケジュール
- ・ 脇田小現校舎撤去の実施設計内容と撤去スケジュール
- ・ 引っ越しに必要な物品量、作業量、費用と具体的な引っ越しスケジュール